

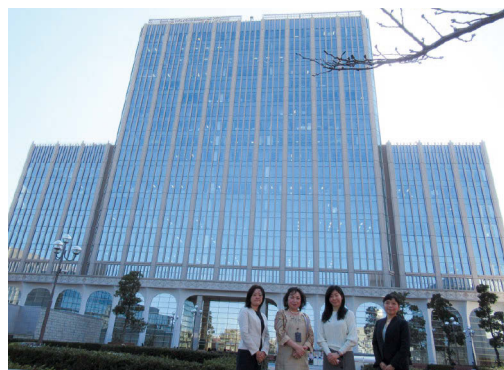
Data (2022年2月現在)

所在地 〒144-8535

東京都大田区西蒲田 5-23-22

スタッフ 五十嵐千代(教授), 江川優子(講師),
一色喜保(助教), 大野祐子(助手)

URL www.teu.ac.jp



左から、一色、五十嵐、江川、大野

東京工科大学 医療保健学部看護学科

地域看護学・公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう?

東京工科大学の運営母体である学校法人片柳学園(1947年創立)は、日本最大の専門学校の日本工学院を設立した法人であり、1986年には理工系の大学として本学を開学した。東京都八王子市に広大なキャンパスを有する他、2010年には日本工学院発祥の地である大田区にキャンパスを開き、医療保健学部を開設した。医療保健学部には6つの学科・専攻科があり、看護学科はその一つである。1学年の学生定員は80名である。

Education

どのような教育をしていますか?

本学の教育方針は「実学主義」で、考える力と実践力に重きを置いている。看護学科開設時から地域看護分野の科目を多くし、患者は全て地域に戻っていくことから、臨床ナースになる学生も地域看護や保健医療福祉をしっかりと学べるようにしている。また、大田区は京浜工業地帯に位置することから、「産業保健・産業看護」を特徴の一つとしており、全ての学生が「産業保健看護学」を学び、大企業と中小企業で実習を行う。

保健師課程は選抜制で、定員20名である。保健師教育にも力を入れ、開学時から毎年複数の行政・産業分野の保健師を輩出しており、2021年度は行政保健師5名、産業保健師4名、病院保健師

1名が新卒で就職している。特に、前述のように本学においては産業保健を特徴としていることから、実習先と連携しながら育成を行い、新卒では就職しにくいと言われる企業や労働衛生機関に総合職として多数就職しており、高い評価を得ている。

Research

どのような研究をしていますか?

教員のこれまでの実践経験を基に、行政保健および産業保健分野の研究を行っている。行政保健分野では「妊娠をきっかけに孤立する女性への支援」や「重症・死亡児童虐待事例を担当した市区町村保健師への支援」についての研究、産業保健分野では「事業場における産業保健師等の実態調査」や「中小企業が健康経営に取り組むための産業保健師の介入」など、さまざまである。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは?

本学部には産業保健実践研究センターがあり、地域看護学教員はセンター員も兼務しており、産業保健のシンクタンクの役割を果たしている。特に、地元大田区との連携は強く、「おおた健康プラン」「大田区自殺総合対策」「おおた健康経営事業所認定事業」などの施策に関わる他、このCOVID-19流行下では大田区保健所のマネジメントに対し助言を行うなどし、地域と密接に連携し保健活動を行っている。

ひとこと

コロナ禍で大きく変わる社会において、地域・職域の保健師たちが連携しながら、さまざまな健康問題に取り組むことが求められています。保健師を目指して本学を受験する学生も多くいます。これからの社会に対応すべく、ICTスキルを身に付け、広い視野と創造性と柔軟性を持った保健師を育て、社会に送り出したいと思っています。

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp